

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	岡山県	事業実施主体	岡山県、備前市、赤磐市、和気町	地域再生計画名	東備地域の資源を活用した都市と農村の交流促進計画		
計画期間	平成23年度から平成29年度	評価責任者	岡山県 農林水産部長	備前市 建設部長	赤磐市 建設事業部長	和気町 産業建設部長	

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価			
		基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績						
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	農道、道路の整備によるアクセス改善 和気IC～旧閑谷学校	18分	H22			8分	H29	8分	○	広域農道を整備したことに伴い、走行時間の短縮となり、目標値を達成出来た。	
		和気IC～農業公園ドイツの森	50分	H22			40分	H29	40分	○	〃	
	指標2	交通障害箇所の解消(市道1箇所)	1箇所	H22			0箇所	H29	0箇所	○	市道の改良により、交通障害は改善し目標を達成出来た。	
	指標3	おかやま次世代フルーツの栽培面積	3ha	H19			18ha	H28	23ha	○	栽培面積の目標は達成出来た。(最新のデータはH28のため、その値を利用。)	
	指標4	観光人口の増加	69万人	H21			69万人以上	H29	69万人	○	市道、広域農道の一体的な整備により、交通網の整備が進んだため、目標を達成出来た。	
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	熊山英国庭園(赤磐市)	31,431(人)	H25			34,087(人)	H29			赤磐市の広域農道のすぐ近くにある旧小学校跡地に整備した英国式庭園で、一年を通して花の香りが楽しめる庭園です。広域農道等、道路網の整備に伴い入場者数も順調に伸びている。	
	指標2	東備地域での新規就農者数(東備地域)	10人	H22			6人	H29			東備地域での新規就農者は、毎年概ね10名程度(年により変動有)おり、地域の重要な担い手として活躍しているため、今後も現状以上の新規就農者の確保を目指す。	
	指標3	和気町での観光りんご園の売り上げ額(和気町)	2.5百万	H25			3.8百万	H29			和気町の広域農道のすぐ近くにある観光りんご園であるが、供用開始延長の増加とともに売上げも順調に伸びている。	
	指標4	(株)西山ファームの売上額(赤磐市)	1.2億	H27			36.8億	H29			平成27年に赤磐市に開園した、体験型観光農園です。改築した北釜底線沿いあり、開園以来順調に売上が伸びている。	
	指標5	和気町藤公園(和気町)	9.6万人	H24			26.6万人	H29			和気町の広域農道ルート上にあり、全国から著名な藤を100種類以上集めて作られた公園です。4月下旬～5月上旬の開花時期には多くの観光客が訪れる、和気町を代表する観光地です。	
③事業の進捗状況	事業名	整備量(その他の事業では取組内容)			事業の進捗状況に関する評価							
		計画	中間年度	最終実績								
特別措置を適用して行う事業	市道 北釜底線	1.0km			1.0km	今回の整備により、交通障害箇所の工事をを行い、交通障害は改善された。本道路の改修を行った事により、広域農道へのアクセスが容易になった。						
	広域農道 備前東部地区	12.0km			12.0km	今回の工事により、備前東部地区が完成し全線供用開始を行う事が出来た。分割採択した、備前東部2期地区が今だに工事中のため、早期に事業完了を行いたい。						
	中山間地域総合整備事業	和気地区	和気町を一体的に整備する総合整備事業であり、生産基盤強化のため、農道整備2地区、農業用排水施設改修4地区、さらに生活環境整備を目的に集落道の整備を3地区行い、和気町の道路網の構築を行う。同時に、農地防災、農業集落排水事業も行い、和気町の活性化を行う。									
	中山間地域総合整備事業	備前地区	備前市の農業生産基盤と農村生活環境改善を目的として行う総合整備事業であり、農業用排水施設改修(ゲート改修等)5地区、農地防災(ため池)3地区、農業集落排水(排水機、排水路整備)3地区を行うことで農業生産向上と生活環境の地域間格差を縮小し、地域活性化や若者定住の促進を図る。									
	就農促進トータルサポート事業(岡山県)	新規就農研修事業	意欲あふれる新規就農者を確保するため、県内で就農を希望する者を対象に、先進農家等における1ヶ月の農業体験研修及び2か年以内の農業実務研修を行う。									
計画外で独自に実施した事業	備前焼まつり(備前市)	備前焼まつり実行委員会、備前市、備前焼陶友会	日本六古窯の一つに数えられる備前焼の陶器市で、2日間で約10万人の熱心な陶芸ファンが訪れる人気イベントであり、本イベント等にて地域活性化を目指している。									
	和気町特産品づくり研究会	和気町商工会、和気町	町営りんご園で収穫されたりんごを用いて醸造された炭酸果実酒。和気町特産品認定ブランド「和気◎印」に認定され、今後とも地域活性化を目指し、特産品を増やしていきたい。									
	葡萄グローバル産地育成事業(岡山県)		面積拡大に向けた取組(新改植、果樹棚、機械導入等)を支援し、供給力強化に対応するため産地の育成を推進する。									
④評価方法	県及び関係市町の関係課にて、最終目標値の実現状況に関して評価・検討を行った。											
⑤事後評価の公表方法	赤磐市建設事業部建設課のホームページに掲載。											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用して広域農道、各市道及び町道を一体的に実施し、和気ICを起点とした道路網の構築を行い、北部の中山間地の農業を活性化し農産物の流通の効率化を行い、都市部との交流促進の目的は概ね達成出来たと考える。さらなる、“もの”の流れ、“人”の流れを活性化するには、より広い広域的な道路網の構築が急がれたため、早期に広域農道の全線開通を行い、この東備地域のさらなる道路網の構築を行い、当地域の活性化を図る必要がある。またもう一つの大きな目標である、この地域の観光、都市部との交流人口の増加に繋がる道路網の整備は順調に進んでいるが、観光人口数は全体としては横ばいとなっているため、既存施設はさらなる情報発信を行い、新たに出来た新規の施設と共存共栄を行い、地域発展を行う必要がある。											
⑦今後の方針等	本地域再生計画における整備計画の目標である和気ICを起点とした道路網の構築は順調に進んでおり、本計画及び他の県営事業等及び関係市町においても積極的に道路網の改築等は行っている状況である。そのためには、この東備地域を一体的に地域の道路網を繋ぐためにも、広域農道の早期の完成が望まれる。また今後は広域農道のさらなる供用開始区間の延長、この東備地域の一体的な市道、町道等の改修を進めて、広域的な道路構築網を形成する必要がある。また、この地域の特産品でもある桃及びぶどうの中でも、岡山県が次世代フルーツとして位置づける、「おかやま夢白桃」及び「オーロラブラック」等のさらなる栽培面積の増を目指し、高品質・高付加価値でブランドを確立するとともに、新規就農者の確保・育成するため、県では葡萄グローバル産地育成事業等により、面積拡大及び人材育成に力を注いでいく。さらに今後は、国内の大消費地や海外へのPRを展開し、「くだもの王国おかやま」のさらなる発展を目指し、今後はこれらの“もの”の流れを活性化し、同時に“人”の流れも活性化しこの地域の生活環境の改善を図る。											